

放課後等デイサービス とらこや 支援プログラム

作成日

令和6年

11月

12日

法人（事業所）理念		「すべては子どもたちのために」		
支援方針		基本的な生活習慣を身につけます。インクルーシブ教育を通して、人との関わりを育みます。『できた！』に繋がる経験を積み上げていきます。リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語療法士)の評価のもと、グループSSTや個別、運動教室を実施します。多職種(保育士、児童指導員、看護師、専門職)でのアセスメントをおこない、療育をしていきます。		
営業時間		学校終了後 9時	0分から 17時	17時 30分まで 00分まで
		送迎実施の有無		あり なし 学校から事業所まで(事業所に保護者迎え)
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の検温、手洗い、うがいを実施し、一人ひとりの健康状態を把握する ・健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出す事を支援する。意思表示が困難な子どもの障害の特性及び発達過程等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察をおこなう ・子どもが食事(おやつ)、排泄、衣類の着脱、身の回りの整理整頓等、生活に必要な基本的技能を獲得出来るよう、生活の場面における環境の工夫をおこないながら子どもの状態に応じて適切な支援をおこなう 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職(PT, OT)の評価のもと運動プログラムを構成し、運動教室では、「楽しいから出来た！」を目的に体を動かせる環境を提供する ・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるように遊びを通して支援する ・状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の補助機器を活用し、他の感覚や機器による代行的に出来るように支援する ・感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をおこなう(イヤーマフの装着等) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分にとっての情報や状況を適切に処理できるように支援する。こだわりや偏食等に対する支援をする ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図る事によって、それを認知や行動の手がかりとして活用出来るよう支援する ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動の対応の支援をおこなう 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育、グループSSTを定期的におこない、コミュニケーションの基礎的な能力を身につける支援をする。障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりをおこなえるように支援する 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが基本的な信頼感を持つことが出来るように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援をおこなう ・生活や遊び等を通して、人の動きを模倣する事により、社会性の発達や対人関係の構築を支援する ・集団に参加するための手順やルールを理解し、子どもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加出来るよう支援すると共に、一緒に活動する事を通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりに繋がるよう支援する ・「お仕事レシピ」を通して、お手伝いの重要さややりがいを深めると共に色々な経験を積み重ねながら自信に繋げていく 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、保護者交流会を実施し、保護者同士で情報交換できる機会を作ります。また、放デイでの様子を見れる参観を設けていきます ・実際に療育の様子を見て頂き、支援方法についてお伝えしていきます 	移行支援		将来的な移行を見据えた支援に加え、併用利用先や学校との情報共有をおこなっていきます
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・居住する市町の子育て支援課、小学校(支援学校)、相談支援事業所、医療機関等と連携し、支援をおこなっていきます 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、身体拘束、感染、緊急時対応等の勉強会 ・グループ内の専門職による発達についての勉強会、外部研修会への参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・クッキング ・季節の行事製作 ・長期休み…課外活動、購入体験、プール ・児童発達支援、児童クラブとの交流 ・同法人施設との交流(畑仕事等) 			